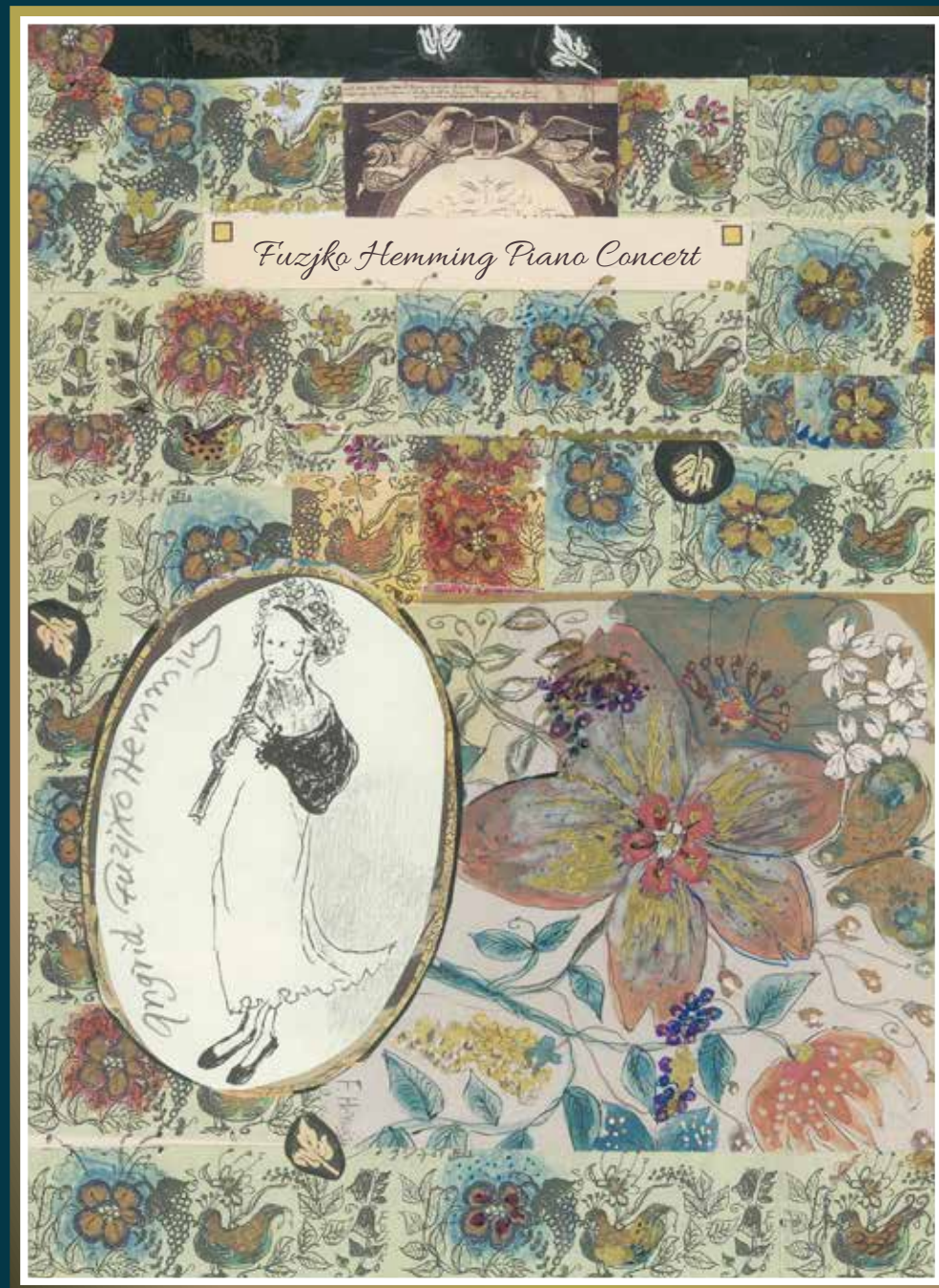




2020年11月13日

横浜みなとみらいホール

主催: FMヨコハマ/サンライズプロモーション東京
企画: ラ・カンパネッラ/青葉ピアノ
後援: tvk(テレビ神奈川)
協力: 神奈川芸術協会/ペーゼンドルファー・ジャパン



PROGRAM

F. シューベルト (1797-1828) Franz Schubert

- ◆ 即興曲 第3番 変ト長調 4つの即興曲 作品 90 (D. 899)

F. ショパン (1810-1849) Frédéric Chopin

- ◆ ノクターン 変ホ長調 作品 9-2
- ◆ エチュード 変イ長調 作品 25-1 「エオリアンハーブ」
- ◆ エチュード 新練習曲 第1番 ヘ短調 遺作
- ◆ エチュード ハ短調 作品 10-12 「革命」

W.A. モーツァルト (1756-1791) Wolfgang Amadeus Mozart

- ◆ ソナタ 第11番 イ長調 「トルコ行進曲付き」 作品 331
第1楽章 主題と変奏－アンダンテ・グラツィオーソ
第2楽章 メヌエット
第3楽章 ロンド “トルコ風”－アレグレット

..... intermission

C. A. ドビュッシー (1862-1918) Claude Achille Debussy

- ◆ 月の光 「ベルガマスク組曲」より 第3曲

M. ラヴェル (1875-1937) Maurice Ravel

- ◆ 亡き王女のためのパヴァーヌ ト長調

F. リスト (1811-1886) Franz Liszt

- ◆ ハンガリー狂詩曲 第2番 作品 244 嬰ハ短調
- ◆ 春の宵 作品 568 ～原曲 / シューマン歌曲 Op.39-12～
- ◆ 巡礼の年 第1年 スイス 「泉のほとりで」 作品 160 (R10-4)
- ◆ パガニーニによる大練習曲 第3番
嬰ト短調 「ラ・カンパネラ」 作品 141より

* 演奏曲目、曲順が一部変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

Ingrid Fuzjko Hemming イングリット・フジコ・ヘミング

スウェーデン人建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングと東京音楽学校(現・東京芸術大学)出身のピアニスト大月投網子を両親としてベルリンで生まれる。

母の指導で幼い頃からピアノを始めた。

10歳のとき、レオニード・クロイツァーにつき、大きな影響を受ける。

クロイツァーは、彼女が将来、世界中の人々を魅惑するピアニストになるだろうと予言していた。

青山学院、東京芸術大学をへて、NHK・毎日コンクール受賞、日本フィルなど数多くのオーケストラと共演、来日中のサムソン・フランソワは、フジコのショパン、リストを聴き絶賛。ベルリン国立音楽学校に入学し主席で卒業。1968年すでにドイツの“DieWelt”紙は「ピアノを弾くため、ショパンとリストの為に生まれて来た。」また「日本から偉大なピアニストが出た。」と報じている。

ドイツ、オーストリア、スウェーデンでの放送は、好評につき、たびたび再放送された。

その頃、フジコは、ウィーンで演奏会直前に聴力を失った。

1999年NHKで放送されたETV特集は、大反響を呼び、何度も再放送される。

8月に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げで、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。

2001年6月には、ニューヨーク・カーネギーホールでのリサイタルに3000人の聴衆が会場を埋め尽くし、感動の渦を巻き起こした。

2003年10月には、愛と感動のスペシャルドラマ『フジ子・ヘミングの軌跡』が、フジテレビ系で放送

ピアニスト、フジコ・ヘミングの波瀾万丈の半生を描いた『フジ子・ヘミングの軌跡』は、スペシャルドラマ放送では高視聴率を記録した。

これまで彼女と共演した、ミッシェル・マイスキーは“忘れ得ないピアニスト”、マキシム・ヴェンゲーロフは“あなたの芸術を賞賛します”と形容している。

2013年には、フジコのプライベートレーベルからフジコヘミングスペインカメラータ21オーケストラCDが発売され、スペイン最大のクラシック・ラジオ番組「カタルーニャ・ラジオ」のリスナーにより1位に選ばれた。2014年にはフジコヘミングソロが発売された。

2016年4月にはニューヨークの国連本部会議場で「日本国連加盟60周年記念」の文化事業で演奏し拍手喝采。

2017年4月にプライベートレーベルからフジコヘミングソロライブの最新CDが発売されている。

2019年7月にはロサンゼルス、ウォルト・ディズニーマンモントコンサートホールやニューヨーク、カーネギーホールでの2回公演、9月にはブルガリアで「第30回日本文化月間」オープニングコンサートとして国立ソフィアフィルハーモニーオーケストラの定期演奏会に招待され聴衆を魅了した。その他キエフ、ドイツ、イタリア、ハンガリー、オーストリア、イギリスで大盛況に終えた。

今後も日本をはじめ世界各国の都市でソロ公演やオーケストラとの共演が予定されている。

最新のコンサート情報等の詳細はフジコ・ヘミング公式サイトをご覧ください。

